

令和7年度 グループホームぐらっと誉田 地域連携推進会議

日 時 令和8年2月14日(土) 13:00 ~ 15:00
場 所 グループホームぐらっと誉田 リビング(緑区誉田町 1-212-7)
参 加 者 グループホームぐらっと誉田 管理者 大塚 敦司
グループホームぐらっと誉田 MG 青柳 徹平
地域連携推進員 利用者代表 O様
地域連携推進員 利用者家族代表 M様
地域連携推進員 地域住民代表 N様

議事 進行 管理者 大塚 敦司
議事録作成者 管理者 大塚 敦司
議事録作成日 令和8年2月14日

会議の経緯及び要点

1. 管理者は議事録の公表方法について、事業所内の掲示及び関係者への配布を予定していることを説明した。
2. 管理者及び参加者はそれぞれ自己紹介を行った。
3. 管理者は報告事項として以下について説明した。
 - ・利用者の障害特性について
知的障害者(重度)、精神障害者を中心に受け入れている。
2/14 現在、強度行動障害を5名受け入れている。
 - ・利用者の日常生活の様子について
食事場所はコロナが収束してからはリビングで召し上がる方がほとんどだが、自室での喫食希望の方はそのように対応している。ご利用者様の障害特性上、職員が危険と判断した場合や、感染症が蔓延した際は食事場所・タイミングは適宜、変更対応をしている。
過ごし方についてはリビングで過ごされる方、ご自身の居室の空間を好む方など様々で、必要な支援をそれぞれ受けて生活している。
 - ・支援者の勤務について
日勤が9:00~17:00まで(毎日2~3名)
主に、通院同行や買い出し、食事・服薬提供、ご利用者様に関わる各種申請、その他生活に必要な支援を行う。
夜勤が17:00~翌9:00まで各ユニットに1名ずつ配置(休憩あり)
主に掃除や食事提供、服薬提供を行う。

- ・ 支援者の研修について
各研修資料を社内連絡ツールにて共有。
常勤職員は適宜、指名を受けた者から強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)を受講している。
 - ・ BCP(業務継続計画) について
感染症対策、防災ともに作成済みであり、それぞれ委員会を設置し、定期的にBCPの見直しを行っている。(資料は参加者確認)
 - ・ 事故・ヒヤリハットについて
今現在までにおいては特段大きな事故は起きていない。事故報告書、ヒヤリハット報告書、再発防止報告書は積極的に提出するよう促している。
出された報告書については、指揮系統を通じて法人代表まで迅速に報告している。
再発防止策を適宜、検討・実施をしている。
4. 参加者に対し、報告事項に関する質問を伺ったが特に質問はあがらなかった。
5. 各参加者からの意見、感想
- ・ O様：特にありません。問題なく暮らしています。
 - ・ M様：家族が倒れてどうしようかと思っていたが入居出来るところがあって良かった。状態が徐々に良くなったことを実感しています。サービス内容で不明点や相談があれば都度していきたいと思います。
 - ・ N様：障害福祉についてふれることはあまりなかった。支援が大変な方もいるかと思うが近隣住民として応援しています。
 - ・ 大塚：重度の方を受け入れている事もあり、GHとしては関係者の方や地域の方々との協力関係が課題と考えています。こういった意見交換ができる機会を行っていく事で連携強化を図っていきたいと思います。

※会議後は住居訪問としてぐらっど誉田内の施設見学を行いました。